

政策に対する満足度や将来重要度などを調査

「安平町まちづくり町民アンケート調査」の結果について

安平町では、まちづくり全般に関する評価や町民意向を把握し、今後の町政に活かすため、平成27年9月に「まちづくり町民アンケート調査」を実施しました。今号では、その結果概要についてお知らせします。なお、集計結果の全容は、町ホームページからご覧になれます。

【問合せ】 企画財政課企画グループ ☎ 2751

●調査の概要

□ 調査目的

- ①現総合計画(28年度まで)に対する評価と次期総合計画(29年度から)の政策反映のための町民意向の把握
- ②人口減少対策の必要性の認知度向上と自然動態及び社会動態対策の政策反映のための町民意向の把握

□ 調査方法

(調査対象) 全戸配布対象の3,840世帯
 (配布方法) 9月の全戸配布に折込
 (回収方法) 同時配布した封筒により郵送回収
 (実施期間) 平成27年9月7日～9月30日

□ 回収結果

(配布数) 3,840世帯
 (回答数) 689世帯
 (回収率) 17.9%

□ 調査項目

- ・安平町に在住する理由
- ・町民の行動圏
- ・愛着度と定住意向の把握
- ・政策に対する満足度と将来重要度の把握
- ・町の将来像
- ・人口減少克服のための町民アイデア など14問65項目

●年齢

20歳代	15人	2%
30歳代	51人	8%
40歳代	63人	9%
50歳代	87人	13%
60歳～64歳	78人	11%
65歳以上	386人	56%
無回答	9人	1%
合計	689人	100%

●性別

男性	400人	58%
女性	218人	32%
無回答	71人	10%
合計	689人	100%

●居住地

追分地区	318人	46%
安平地区	55人	8%
早来地区	246人	36%
遠浅地区	62人	9%
無回答	8人	1%
合計	689人	100%



●職業

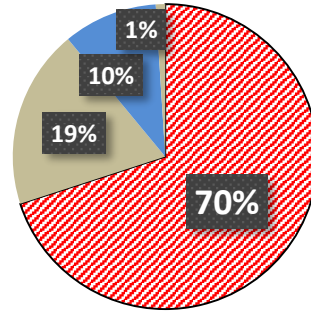
農業	49人	7%
製造業・建設業	43人	6%
卸小売業・飲食業	11人	1%
サービス業等(公務員含)	129人	19%
パートタイム・アルバイト	74人	11%
専業主婦(夫)	54人	8%
無職	296人	43%
学生・その他	19人	3%
無回答	14人	2%
合計	689人	100%

●安平町に住んだ理由(複数回答)

生まれてから住んでいる	112人	16%
実家がある(あった)	127人	18%
就職・転勤・進学など	218人	32%
結婚相手が住んでいた	118人	17%
家族・親戚などが住んでいた	55人	8%
買い物などが便利	5人	1%
通勤・通学が便利	30人	4%
通院に便利	12人	2%
居住環境が良い	63人	9%
教育・子育て環境が良い	18人	3%
希望する物件があった	61人	9%
その他	36人	5%
合計	855人	

●安平町に愛着を感じるか

感じている	241人	35%
どちらかといえば感じている	241人	35%
どちらともいえない	130人	19%
どちらかといえば感じていない	35人	5%
感じていない	33人	5%
無回答	9人	1%
合計	689人	100%



約70%の方が安平町に愛着を感じており、特に年齢が上がるほどその割合も高い結果となっています。

反面、約10%の方が愛着を感じていないこともわかりました。

●日用品の買い物で、最も多い「行き先」と「移動手段」

行き先	安平町内	218人	32%
	苫小牧市	174人	25%
	千歳市	277人	40%
	恵庭市	2人	0%
	札幌市都心部	1人	0%
	札幌市(都心部以外)	4人	1%
	その他市町村	4人	1%
	無回答	9人	1%
合計	689人	100%	
移動手段	徒歩	57人	8%
	自転車	40人	6%
	自家用車	542人	79%
	バス	10人	1%
	JR	12人	2%
	タクシー	5人	1%
	その他	4人	0%
	無回答	19人	3%
	合計	689人	100%

●安平町に住み続けたいか、その理由は

定住意向	住み続けたい	313人	45%
	どちらかといえば住み続けたい	193人	28%
	どちらともいえない	83人	12%
	どちらかといえば住みたくない	65人	10%
	住みたくない	22人	3%
	無回答	13人	2%
合計	689人	100%	

住み続けたい理由(複数回答)	住み慣れた土地だから	247人	36%
	家や土地があるから	340人	49%
	親や親類がいるから	42人	6%
	友人など人間関係があるから	101人	15%
	自然が豊かだから	71人	10%
	教育環境が良いから	3人	0%
	通勤や通学が便利だから	15人	2%
	日常の買い物が便利だから	8人	1%
	生活環境が良いから	42人	6%
	職場があるから	32人	5%
	町の将来に希望がもてるから	3人	0%
	特に理由はない	22人	3%
	その他	4人	1%
	合計	930人	

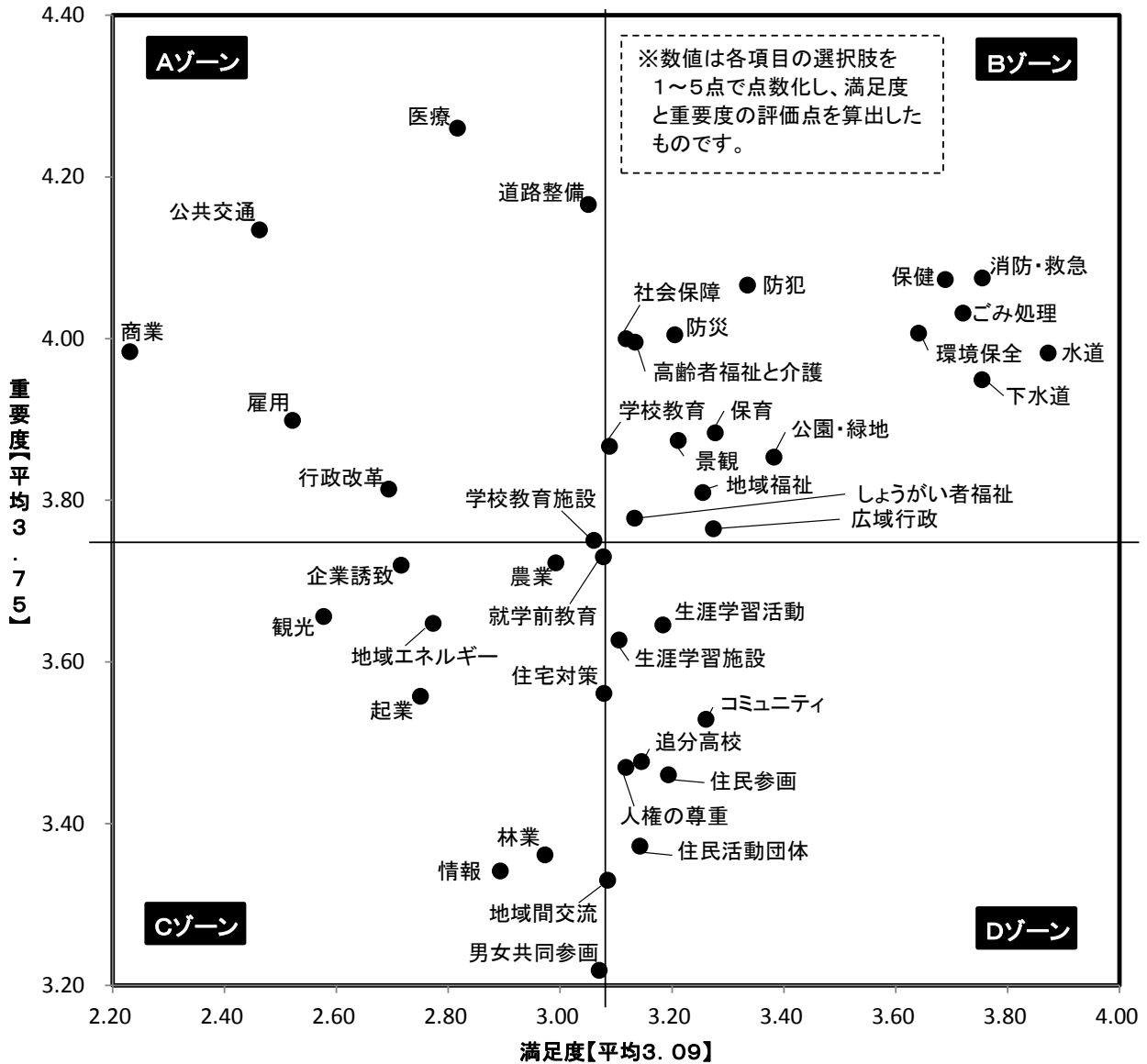
●通院で、最も多い「行き先」と「移動手段」

行き先	安平町内	244人	35%
	苫小牧市	255人	37%
	千歳市	132人	19%
	恵庭市	8人	1%
	札幌市(都心部)	21人	3%
	札幌市(都心部以外)	20人	3%
	その他市町村	3人	1%
	無回答	6人	1%
合計	689人	100%	
移動手段	徒歩	51人	7%
	自転車	19人	3%
	自家用車	535人	78%
	バス	21人	3%
	JR	39人	6%
	タクシー	9人	1%
	その他	7人	1%
	無回答	8人	1%
	合計	689人	100%

住みたくない理由(複数回答)	日常の買い物が不便	51人	7%
	道路事情や交通の便が悪い	22人	3%
	行事や近所づきあいが面倒	13人	2%
	子どもの保育・教育が不安	4人	1%
	町内に適当な職場がない	7人	1%
	医療サービスや施設が不足	26人	4%
	福祉サービスや施設が不足	6人	1%
	消防・防災・防犯体制に不安	1人	0%
	文化・スポーツ施設が不足	4人	1%
	生活施設の整備が不足	7人	1%
	住民交流がない	3人	0%
	情報通信基盤が不足	2人	0%
	その他	14人	2%
	合計	160人	

満足度を横軸、重要度を縦軸に、42項目を相対的に評価するため、平均値（満足度平均値3.09、重要度平均値3.75）を境として、4つの領域に分類しました。

政策満足度と将来重要度（全年齢合計プロット図）



施策の重要性が広く町民に認識され、特に町民ニーズが高い項目と考えられる領域

《 表の見方と領域の特性 》

Aゾーン 満足度: 平均値より低い 重要度: 平均値より高い	Bゾーン 満足度: 平均値より高い 重要度: 平均値より高い
Cゾーン 満足度: 平均値より低い 重要度: 平均値より低い	Dゾーン 満足度: 平均値より高い 重要度: 平均値より低い

重要度平均値3.75

他の施策と比較してその重要性の認識が低い項目で、重要性認知を高めるなど改善検討が必要と考えられる領域

満足度平均値3.09

施策の重要性が十分認識されているとともに、現在の取組みにも満足している町民が多い領域

他と比較してその重要性の認識は低いものの、現在の取組みには満足している町民が多く、施策の重要性認知を高める必要がある領域

●どのような特色のある町にするべきか(2つまで)

快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち	305人	44%
子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	188人	27%
人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち	315人	46%
地域資源を活用した多くの人が集まる観光・交流のまち	103人	15%
基幹産業である農業と商業・工業の連携による産業が躍動するまち	153人	22%
生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化・スポーツのまち	67人	10%
町民と行政が協力しながらまちづくりを行う住民参画・協働のまち	80人	12%
その他	9人	1%
合計	1220人	

結選はに
果択、すど
と肢どべの
ながのきよ
り上年かう
ま位代をな
し3で聞特
たつもい色
。を概たの
占ね設あ
め同問る
るじで町

が不共面果・処→→要示
高満交、と重理消水度し前
いに通→な要対防道にたペ
結感←商つ度策・・関政↓
果じの業てと←救下す策ジ
とて分←いもの急水る満の
ない野→まに分体道調足ブ
りるに雇す特野制施查度ロ
ま方お用。にで←設でとツ
しのい←そ高満→整は將ト
た割て→のい足ご備、来図
。合、公反結度み←重で



●社会減少(転入-転出)を食い止める政策(3つまで)

移住定住の情報発信、観光・交流拡大、知名度向上	230人	33%
起業、新産業誘致への支援	248人	36%
ふるさとへの誇り・愛着の醸成などによる出身者Uターン	116人	17%
新規就農・商工業就業者への総合的支援	171人	25%
若者、高齢者などが活躍できる雇用の創出	371人	54%
生活環境の整備や公共交通機関の充実	213人	31%
中心市街地に賑わいを取り戻すための取組み	162人	24%
高齢者転出を抑制するための福祉政策の充実	157人	23%
その他(自由記載)	34人	5%
合計	1702人	

●自然減少(出生-死亡)を食い止める政策(3つまで)

結婚に対する支援策の充実	183人	27%
妊娠、出産・子育てに関する相談、情報提供	149人	22%
子どもが遊べる場所の整備、充実	94人	14%
保育料軽減や奨学金制度の充実など経済負担軽減	328人	48%
子ども園など、子育て支援施設・サービスの充実	187人	27%
子どもの教育環境や施設整備などの充実	135人	20%
子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	417人	61%
多子世帯に対する支援の充実	106人	15%
その他(自由記載)	38人	6%
合計	1637人	



ご公じてをた
覧表でい合結な
くしはまわ果お
だて、すせ概、
さい年がた要こ
いま代、集はこ
。す別町計、で
ののホ値全お
で集しをて知
、計ム掲のら
ぜ値ベ載年せ
ひもしし代し

よて性の野がさ続定を
うもを10をらんのに踏今
努町定年洗、かよ向ま回
め民めのい満らりけえ実
て満、ま出足意、た、施
ま足どちす度見今各次し
い度のづとがを後種期た
りが分くと低おも町総調
ま向野りもい聴町民合查
す上にのに施き民参計の
。すお方、策しの画画結
るい向次分な皆手策

厚だ
くきア
おまん
礼しケ
申たし
し町ト
上民に
げのご
ま皆回
すき答
。んい
にた